

総合教育会議 会議録

平成28年度 第1回

1 日 時 平成28年 5月 16日 (月) 15時00分～15時20分

2 場 所 浦添市役所 庁舎4階 企画調整会議室

3 議 題

議案第1号 浦添市幼児教育振興アクションプログラムに向けた取り組みについて

【原案通り承認】

議案第2号 浦添市教育大綱の策定について【一部を修正し承認】

4 議事の概要

○事務局 (教育部総務課長 平良 淳)

皆さま、こんにちは。総合教育会議の事務局をしております教育部総務課の平良です。2月に開催されました総合教育会議にて平成28年度より教育委員会が事務局を担当することになります。これからよろしくお願ひします。それでは市長、会議の進行をお願ひします。

○市長 (松本 哲治)

本日はお集まりいただきまして、ありがとうございます。これより平成28年度第1回総合教育会議を開会いたします。まず、議案第1号「浦添市幼児教育振興アクションプログラムに向けた取り組みについて」協議いたします。

本市は幼稚園教育の充実に向けた取り組みとして、3年保育の充実、給食の導入、そして幼保連携型認定こども園を実施する内容となっております。お手元に資料を用意いたしました。4ページをご覧ください。概要をご説明いたしますと、「第4次浦添市総合計画後期基本計画」施策2-1に掲げております「一人ひとりの個性を伸ばす就学前(幼稚園)教育の充実」を図るために、3年保育や給食導入、預かり保育が課題となっております。そこで3つの課題をクリアするために、浦添市幼児教育振興アクションプログラムを策定いたしました。スケジュールに関しましては、6ページをご確認ください。この計画通り2,3年で順次整えてまいります。

それではここまでに關し、ご意見を受けたいと思ひます。

○教育委員長 (与儀 啓子)

先日の教育委員会定例会において指導部より説明を受けております。これらの取り組みは、保護者のニーズにマッチし、第4次浦添市総合計画の教育施策のめざす方向や幼児教

育振興アクションプログラムの具体的な取り組みにも合致した内容であります。我々教育委員会もこれらの取り組みの実施に賛同いたします。

○市長（松本 哲治）
他にご意見はございませんか？

○教育委員（池田 博暁）
先ほど市長から説明がありましたけれども、3年保育や給食導入・預かり保育が課題となるということで、3年でクリアするということですがその実施に当たっての課題もまたあると思います。配られた資料の5ページをご覧ください。
5ページの中の「実施にあたっての課題」というのがありますが、ここに6点ほど挙げております。その中に一つ加えてですね、読上げていきますと、3年保育の教室の整備、2つ目に給食の受け室整備、3つ目に保育教諭の配置、4つ目に保育所職員との人事交流、5番目に園長の専任化、6番目に幼保一元化に向けた組織のあり方、ということで、7番目に幼稚園教諭の計画的採用、これは臨時教員の割合が高いということで、その部分も含めて市長のご配慮がいただければと思います。以上です。

○市長（松本 哲治）
池田委員から5ページの実施にあたっての課題を6つ挙げていますけれども、その中にもう一つ、7番目として幼稚園教諭の計画的採用を加えるというご提案がありました。いろんなところで話題になっているところですが、何かを実施する時に、実際にやろうにも働く人がいない、働く人の身分がしっかりしていない、という問題は教育現場に限らずあるわけです。幼稚園教諭をどのような形で充実していったら、子ども達を受け取る先生方にしっかりと配慮しながら進めていこうということでございますが、事務局の方から何かありますか。

○教育部長（石原 正常）
休憩をお願いします。

○市長（松本 哲治）
では休憩に入ります。
再開します。それでは、あえて7番に課題を追加するのではなく、3番の中にしっかりとした受け皿としての先生の位置づけということも含まれているということでよろしいでしょうか。

○教育委員長（与儀 啓子）
ありがとうございました。

○市長（松本 哲治）
議案第1号については、各スケジュールに沿って進めていくことにご異議ありませんか？それでは、指導部、福祉部一体となって早急に取り組みますので、ご理解ご協力をお願いいたします。

次に議案第2号「浦添市教育大綱の策定について」に移ります。大綱策定の趣旨は市長と教育委員会が連携強化を図り、それぞれの施策をより一体的に推進するためでございます。

す。よって、さきほど教育委員長のお話にもありましたとおり、「第4次浦添市総合計画後期基本計画」の教育委員会に関する部分の施策を参酌してございます。お手元の大綱案をご覧ください。項番2「生きる力をはぐくむ学校教育等の充実」の最後の部分に、現在本市が取り組んでおります「子どもの貧困問題」の対策を強力に進めていく必要があると考えております。そこでA3の資料をご覧ください。仮称ではございますが、「沖縄県子どもの貧困対策推進計画」「2基本理念」の文言を参照し、「また、貧困等生まれ育った環境によって左右されることなく、夢や希望を持って成長していける教育環境の充実をめざします。」の文言を追加してございます。いかがでしょうか。

○教育委員（胡宮 なりえ）

我々も経済的貧困やネグレクト等子どもたちを取り巻く環境が、不登校や問題行動につながるものと認識しており、この文言追加にはおおいに賛同いたします。

ただいま市長より文言の追加のご提案がありましたが、我々教育委員会も1点追加の提案をしたいと考えております。そもそも「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正のきっかけとなったのが、「いじめ問題」であります。

浦添市においても、去る4月1日に「浦添市いじめ問題専門委員会規則」を制定し、対応しております。「第4次浦添市総合計画後期基本計画」のなかでは、施策2-2-2「豊かな人間性や創造性の育成」の具体的な取り組みとして、いじめについて述べておりますが、是非浦添市教育大綱の柱として、項番9に「いじめ問題」を追加いただきたいと提案いたします。市長どうでしょうか？

○市長（松本 哲治）

非常に素晴らしいご提案です。年々深刻な社会問題となっている問題ですので、是非追加いたしましょう。文言についても提案がございましたか？

○教育委員長（与儀 啓子）

はい。ございます。資料を用意いたしました。ご覧ください。我々話し合いまして「9規範意識・奉仕精神・人権意識の推進と自立心・自尊感情の向上」としたいと考えております。また、施策のめざす方向として「道徳教育・人権教育を推進し、たくましく思いやりのある豊かな心を持つ子どもたちを育てます。また、児童生徒等の教育上の問題や悩み、いじめなどに早期に対応するため、相談体制の強化や環境の充実を図ります。」としてございます。他に追加はありますか。

○教育委員（多喜 和彦）

与儀委員長のお話の通り、項目9の追加に賛同致します。よろしく申し上げます。

○市長（松本 哲治）

はい。了承しました。それでは項番9を追加いたします。最後に、この教育大綱の対象期間ですが、「第4次浦添市総合計画」の後期基本計画との整合性を図るため、平成28年度から平成32年度までといたします。ただし必要に応じて見直しができるものいたします。教育委員のみなさま、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○市長 (松本 哲治)

ありがとうございます。それでは本日の第1回総合教育会議を閉会と致します。